

## 「マルチステークホルダー方針」

当社は、“環境クリエイター<sup>®</sup>”として、空調設備工事を核とした建物空間へのワンストップサービス事業の発展と、エネルギー分野などにおける、革新的な事業領域の構築を通じ、快適かつ最適な空間創造と地球環境保全に貢献しております。

企業経営において、株主にとどまらず、従業員、取引先、顧客、債権者、地域社会をはじめとする多様なステークホルダーとの価値協創が重要となっていることを踏まえ、マルチステークホルダーとの適切な協働に取り組んでまいります。その上で、価値協創や生産性向上によって生み出された収益・成果について、マルチステークホルダーへの適切な分配を行うことが、脱炭素社会への貢献を目指して、人にやさしい快適空間の創出、高品質な製品の製造環境づくり、最新の省エネルギー運用などの社会的価値を創出することにつながるという観点から、従業員への還元や取引先への配慮が重要であることを踏まえ、以下の取組を進めてまいります。

### 記

#### 1. 従業員への還元

当社は、人財マネジメント基本方針に則り「人が最大の資産である」という理念に基づき、個々の人財が健康で生き生きと能力を最大限に発揮できるよう、人財投資への取り組み（人材投資）を一層強化し、持続的な成長と生産性向上の実現、および、付加価値の最大化に注力します。その上で、生み出した収益・成果に基づいて、自社の状況を踏まえた適切な方法による賃金の引上げを行うとともに、従業員のエンゲージメント向上や更なる生産性の向上に資するよう、総合的な処遇改善を含めた従業員への持続的な還元を進めてまいります。

（個別項目）

具体的には、賃金の引上げについて、ベアを含む基本給、各種諸手当の改定等を実施いたします。今後につきましても、従業員の賃金引き上げに努めてまいります。

人材投資について、従業員の階層に応じた教育体制を整備し人財を育成しております。また、タレントマネジメントシステムの構築を進め、人財発掘と配置で育成に繋げるとともに、適時適材や適材適所をもって多種多様なジョブローテーションを実現します。加えて、少子高齢化による労働力人口減少への対応や労働時間の削減に向けた取り組みとして、新卒採用および中途採用の強化、施工現場へのITツールの導入、施工現場の生産性向上を目的とした現場施工のオフサイト化の推進、基幹システムの刷新等、様々な施策を実施しております。

#### 2. 取引先への配慮

当社はパートナーシップ構築宣言の内容遵守に、引き続き、取り組んでまいります。

- ・ パートナーシップ構築宣言の登録日

【2023年3月31日】

- ・ パートナーシップ構築宣言のURL

【<https://www.biz-partnership.jp/declaration/26007-04-00-tokyo.pdf>】

### 3. その他のステークホルダーに関する取組

当社は、サプライチェーンの基盤強化を行い、安定した施工体制を構築し、協力会社との連携強化に努めます。

これらの項目について、取組状況の確認を行いつつ、着実な取組を進めてまいります。

以上

令和5年4月6日

高砂熱学工業株式会社

代表取締役社長 小島 和人